

R3年度実績評価特記事項素案

資料3

大項目	小項目	各委員のコメント	素案(事務局作成)
(1) 教育研究等の質の向上	2	オンライン授業や病院実習の不足等にも臨機応変に対応して、きめ細やかな指導により国家試験の合格率100%を達成できた点、さらに、シミュレーションラボの導入といった新たな試みに挑戦されていることを評価します。	新型コロナウイルス感染症の影響によるオンライン授業への切り替えや病院実習の不足等にも臨機応変に対応し、きめ細やかな指導により国家試験の合格率100%を達成できた点、さらに、シミュレーションラボの導入といった新たな試みに挑戦していることを評価する。
	3	感染拡大状況を予測しながらのオンライン/対面の使い分けや、学習効果にも影響する学生間のコミュニケーション不足への対応、臨地実習の困難さもある中、着実に年度計画を実行し、また、国家試験の合格率100%も達成している点の評価します。	感染拡大状況を予測しながらのオンライン/対面の使い分けや、学習効果にも影響する学生間のコミュニケーション不足への対応、臨地実習の困難さもある中、着実に年度計画を実行し、また、国家試験の合格率100%を達成している点の評価する。
	4	感染拡大により一部実習を学内実習に切り替え、また、感染拡大防止と教育のあり方について教員間で、また、実習指導者との意見交換や実務経験豊富な教員による対人援助現場で有用な知識・技術の習得を進めている点評価します。	感染拡大により一部実習を学内実習に切り替え、また、感染拡大防止と教育のあり方について教員間あるいは実習指導者との意見交換や、実務経験豊富な教員による対人援助現場で有用な知識・技術の習得を進めている点の評価する。
	5	感染対策を進めながら新カリキュラムへの対応を進め、臨床実習指導者との協議や新規実習施設の確保等、着実に年度計画を実行しています。また、リハビリテーション教育評価機構やWFOTからの認定等、外部評価を活用されている点、評価します。	感染対策を進めながら新カリキュラムへの対応を進め、臨床実習指導者との協議や新規実習施設の確保等、着実に年度計画を実行している。また、リハビリテーション教育評価機構やWFOTからの認定等、外部評価を活用されている点の評価する。
	6	教育内容の点検を行うとともに、多様な専門性を活かしながら科目担当者を変更する等、継続的に見直しが行われており、オンラインの特性を活かして遠方から講義頂く等、積極的な取り組みを評価します。 一方、「学生が哲学的に”人”を考える機会が少なく思え、そこをどう補うかが課題かもしれません。」とのこと、基本理念であるヒューマンサービスの理解等のため、今後の教授法の深化に期待します。	教育内容の点検を行うとともに、多様な専門性を活かしながら科目担当者を変更する等、継続的に見直しが行われている。またオンラインの特性を活かして遠方から講義頂く等、積極的に取り組んでいる。学部教育において、様々な工夫により教育の質の向上につながったことを評価する。 一方で、法人から学生が哲学的に”人”を考える機会が少なく思え、そこをどう補うかが課題かもしれないとの回答があった。基本理念であるヒューマンサービスの理解等のため、今後の教授法の深化に期待する。
		様々な工夫が教育の質向上に寄与したものとします。	

R3年度実績評価特記事項素案

資料3

大項目	小項目	各委員のコメント	素案(事務局作成)
	7	ワーキング・グループの設置により対処すべき課題の洗い出しを行う等、前向きなPDCAの取組みを評価します。 検討の結果について早期実践を願います。	ワーキング・グループの設置により対処すべき課題の洗い出しを行う等、前向きなPDCAの取組みを評価する。 検討の結果については、早期に実践していくことを期待する。
	9	コロナ禍においても着実にカリキュラムの見直しや、研究活動部会の立ち上げ等を前向きに進めている点、また、感染管理認定看護師教育課程について定員数を拡大する等、社会のニーズに積極的に応えている点を評価します。	コロナ禍においても着実にカリキュラムの見直しや研究活動部会の立ち上げ等を進めている。また、感染管理認定看護師教育課程について定員数を拡大する等、社会のニーズに積極的に応えている点を評価する。
	11	各種制度設計のほか、カリキュラム評価も行い、特にヘルスイノベーション研究科はスピード感をもった立ち上がりができたと考えています。	各種制度設計のほか、カリキュラム評価も行い、特にヘルスイノベーション研究科はスピード感をもった立ち上がりができている。
	12	新たに3部会を設置し、組織横断的にカリキュラム内容の検討を行う等の積極的な取組みを評価します。	新たに3部会を設置し、組織横断的にカリキュラム内容の検討を行う等の積極的な取組みを評価する。
	13	時代に即した成績評価の在り方が検討されることを期待します。 成績優秀者について、適正に評価されたものと思う。	要確認
	⑩	常勤職員を充足できていないものの、クロスアポイントメント制度等の活用により、教育に穴をあけることなく進めている点は評価します。一方、勤怠管理システムを導入したことで、常勤教員の設置を満たせていない状況に起因する常勤教員への負荷の実態が明らかになる面もあろうかと思えます。適切な対応を期待します。 ヒューマンサービスを基本理念とし、よりそったきめ細やかな教育は特色ではあるものの、効率性/未病/ワークライフバランス/健康経営といった観点とのバランスについての議論も必要と考えます。 教職員の採用については迅速かつ適切であったとのことです。	常勤職員を充足できていないものの、クロスアポイントメント制度等の活用により、教育に穴をあけることなく進めている点は評価する。 一方で、勤怠管理システムを導入したことで常勤教員の設置を満たせていない状況に起因する常勤教員への負荷の実態が明らかになる面もあろうかと思われる。これに対し適切な対応を期待する。 ヒューマンサービスを基本理念とし、寄り添ったきめ細やかな教育は特色ではあるものの、効率性/未病/ワークライフバランス/健康経営といった観点とのバランスについての議論も必要と考える。 要確認

大項目	小項目	各委員のコメント	素案(事務局作成)
17		教育備品の更新等も着実に進捗し、wifi環境の整備とともにzoomやmanabaの導入によりオンライン環境が整備され、また、図書館の利用についてもラーニング・コモンズの導入を検討する等、積極的な対応が検討されています。	教育備品の更新等も着実に進捗し、Wi-Fi環境の整備とともにzoomやmanabaの導入によりオンライン環境が整備され、また、図書館の利用についてもラーニング・コモンズの導入を検討する等、積極的な対応が検討されている。図書館利用者の減少に対し、ニーズを踏まえたサービス提供が模索され、実践されているものである。
		図書館利用者減少に対する公平なサービス提供が模索され実践された。	
18		大変熱心にお進め頂き、オンライン環境を活用しながら、アクティブラーニングの次の段階の教授法を模索して頂きたく。また、子どもや老人と接触したことの無い今の学生の世代に向けた教授法、コロナ禍でコミュニケーションの機会が減ってしまった学生に向けた教授法をぜひ模索して頂ければと思います。	オンライン環境を活用しながら、アクティブラーニングの次の段階の教授法を模索していただきたい。また、子どもや老人と接触したことの無い今の学生の世代に向けた教授法、コロナ禍でコミュニケーションの機会が減ってしまった学生に向けた教授法についても模索してもらいたい。
19		学部受験倍率が急激に低下しており、18歳人口の減少以外の要因として、県内に他の公立大学が開設されたことやコロナ禍による保健医療福祉職のイメージの変化等、経営環境は厳しくなっていること。今後、本学で学ぶことの意義/独自性を再度丁寧に発信頂くことを期待します。	学部受験倍率が急激に低下しており、18歳人口の減少以外の要因として、県内に他の公立大学が開設されたことやコロナ禍による保健医療福祉職のイメージの変化等、経営環境は厳しくなっていること。今後、本学で学ぶことの意義や独自性を再度丁寧に発信していくことを期待する。
22		今年度も本学らしいきめ細やかな対応をして頂いている点を評価します。	オンライン等で学生への学習・生活支援が行われており評価できる。
		オンライン等で学生への学習支援が行われており、適切な評価であると思います。	
23		オンラインの利点をよくご活用頂き成果が上がっている点を評価します。	オンラインの利点をよく活用し、成果が上がっている点を評価する。
②4		具体的取り組みが遅いのではないのでしょうか。	学術論文等の実績について、著書数などの数値だけでなく、質の評価を実施することが望ましい。
		着実にお進め頂いていると思います。今後の質の向上に期待します。	

要確認

R3年度実績評価特記事項素案

資料3

大項目	小項目	各委員のコメント	素案(事務局作成)
	②5	科研費申請件数はその大学の研究活性度の純粋なバロメーターと考えます。	研究活動を推進する体制の整備に積極的に取り組んでいる。 科研費申請件数は大学の研究活性度を測るバロメーターとなる。科研費申請件数の増加に期待する。
		着実に進めて頂いている点を評価します。	
		研究活動を推進する体制、整備について引続き積極的に取り組みがされたものと思います。	
	26	大変熱心な姿勢で取り組んで頂いている点を評価します。	熱心な姿勢で取り組んでいる点を評価する。
②7	大変熱心な姿勢で取り組んで頂いている点を評価します。	熱心な姿勢で取り組んでいる点を評価する。	
28	オンライン授業を積極的に活用し、国際交流や海外の高度な知見を取り入れる姿勢を評価します。ぜひ粘り強く、学生のグローバルマインド醸成にお取り組み頂きたいと思っております。	オンライン授業を積極的に活用し、国際交流や海外の高度な知見を取り入れる姿勢を評価する。粘り強く、学生のグローバルマインド醸成に取り組んでほしい。	
(2) 業務運営の改善・効率化	30	クロスアポイントメント制度の活用等により、常勤職員を充足できていない状況にも、教育の質を落とさず対応できた点を評価します。また、クロスアポイントメント制度により、より専門性の高い人材を招聘するご尽力も評価します。	クロスアポイントメント制度の活用等により、常勤職員を充足できていない状況にも教育の質を落とさず対応できた点を評価する。また、クロスアポイントメント制度により、より専門性の高い人材を招聘する尽力についても評価する。
	31	複数年契約を採用する等、各種効率化をお進め頂いています。	複数年契約を採用する等、効率化を進めた業務運営が実現している。
効率的な業務運営が出来たものと評価します。			

R3年度実績評価特記事項素案

資料3

大項目	小項目	各委員のコメント	素案(事務局作成)
(3) 財務内容の改善	32	外部資金獲得に向けた各種制度の創設や、令和2年度には科研費の採択率がランクインする等、積極的に取り組んでおられると考えます。今後、18歳人口の減少に対応する戦略を立案することも重要と考えます。	外部資金獲得に向けた各種制度の創設や、令和2年度には科研費の採択率がランクインする等、積極的に取り組んでいる。今後、18歳人口の減少に対応する戦略を立案することも重要であるとする。
	33	複数年契約を採用する等、各種効率化をお進め頂いています。 引続き経費削減、環境負荷低減が進められていると評価します。	複数年契約を採用する等の効率化、経費削減及び環境負荷低減の継続的な推進を評価する。
(4) その他業務運営	35	地域開放等の有効活用方法について、引き続きの検討を期待します。	地域開放等の有効活用方法について、引き続きの検討を期待する。
	36	年度計画において「適宜マニュアル等の検証を行う。」とありますが、検証の実施状況が分かりませんでした。時の経過とともに実態と乖離していないか継続的な見直しが必要と考えます。また、個人情報保護に係る講習会は、学生は100%が受講とのことですが読み取れませんでした。一方、教員に対する研修は受講勧奨のみとのこと、研修実施のみならず個人情報保護の重要性が浸透することが重要ですので、もう少し丁寧な実施が必要ではないでしょうか。	新型コロナウイルス感染症の影響を考慮した訓練が実施されている点の評価する。 年度計画において「適宜マニュアル等の検証を行う」とあるが、検証の実施状況が読み取れない。時の経過とともに実態と乖離していないか継続的な見直しが必要である。 また、個人情報保護に係る講習会について、学生の受講が100%であったことが読み取れない。一方で、教員に対する研修は受講勧奨のみとのことだが、研修実施のみならず個人情報保護の重要性が浸透することが重要であるため、丁寧な実施が必要である。
		現状にあった訓練が実施されています。	
	37	ユーザー目線を重視したウェブサイトやSNSを通じた積極的な情報発信姿勢を評価します。	ユーザー目線を重視したウェブサイトやSNSを通じた積極的な情報発信姿勢を評価する。
38	研修等が着実に実施されていますが、形式的な研修実施にとどめることなく、実際の浸透度合を重視して、今後の取組みをお進め頂ければと思います。	研修等が着実に実施されているが、形式的な研修実施にとどめることなく、実際の浸透度合を重視して、今後の取組みを進めてもらいたい。	

R3年度実績評価特記事項素案

資料3

大項目	小項目	各委員のコメント	素案(事務局作成)
(5) 点検・評価	39	自己点検や外部評価の結果を前向きに真摯に活用するご姿勢を評価します。	自己点検や外部評価の結果を前向きかつ真摯に活用する姿勢を評価する。
	40	法人としてPDCAに取り組んでいることが良く読み取れる記載内容となっており、県民の皆様をはじめとするステークホルダーに、積極的に課題の解決に取り組む、成長し、また、社会のニーズに向き合っている様が説明されるようになって来たと思います。	法人としてPDCAに取り組んでいることが良く読み取れる記載内容となっており、県民の皆様をはじめとするステークホルダーに、積極的に課題の解決に取り組む、成長し、また、社会のニーズに向き合っている様が説明されるようになってきた。
その他		今後、保健福祉分野の人材不足への対応としてAIや機械化が進むというご意見もあるようですが、そのような未来におけるヒューマンサービスの価値というものを、より発信頂けると本学の教育の価値が県民の皆様にもよく伝わるのではないのでしょうか。	今後、保健福祉分野の人材不足への対応としてAIや機械化が進むという意見もあるが、そのような未来におけるヒューマンサービスの価値というものをより発信することで、法人の教育の価値が県民の皆様にもよく伝わるであろう。